

一般社団法人52Hz

2025年度 活動報告書

事業年度：2025年6月1日～2026年5月31日

※本事業年度より、事業年度の開始月を3月から6月へ変更した。

1. 法人の概要

項目	内容
名称	一般社団法人52Hz
代表理事	梅澤凌我
設立	2024年3月（登記日：2024年3月19日）
主たる事務所	〒600-8223 京都府京都市下京区七条通油小路東入大黒町227番地 第2キョートビル402
連絡先	admin@52hz.world
Webサイト	https://52hz.world/

目的

日本全国の中高生が、海外大学進学を含めたグローバルな進路選択に挑戦することのできるコミュニティ構築を軸に、教育機会をより自由に、ボーダレスに、エキサイティングにすることを主たる目的とする。

役員

役職	氏名
代表理事	梅澤凌我
理事	黒岩芽生
理事	小島輝
理事	谷津凜勇
理事	富田真源

2. 事業の経過及び成果

(1) 今年度の概要

本年度は、オンラインコミュニティの運営を中心に、以下の事業を実施した。

- 日本財団助成 Office Hour（海外大生オフィスアワー）（助成期間：2025年4月～2026年3月）
- 一般財団法人三菱みらい育成財団助成 52Hz Accelerator（2025年6月～2026年3月）
- 52Hz English Academy（3期開講）
- 出張授業、公式note、NewsPicks による対外発信

コミュニティ参加者数の把握は困難なため、応募者数を指標とした。応募者数は期初1,170名、期末1,523名。期末時点のコミュニティ参加者は931名。

(2) コミュニティ事業

全国の中高生と海外大学生が日常的につながるオンラインコミュニティを運営した。

Office Hour（日本財団助成）

現役海外大生と中高生が対話する Office Hour を実施した。助成期間は2025年4月～2026年3月（本事業年度と一部不一致）。

当初は「1回20～30名・年間約50回」の定例イベントを予定していたが、定例形式では支援が必要な参加者の心理的ハードルが高いとの判断から、セミナー（情報提供）、少人数相談室、1on1（個別対話）に分け、Discordコミュニティ内で運営する方式へ変更した。

実施139回、延べ参加者942名。コミュニティ内のメンバー同士による自発的1on1は、報告のあった範囲で143人・延べ254回。

（3）52Hz Accelerator（一般財団法人三菱みらい育成財団 助成）

2025年6月～2026年3月（約10ヶ月）、Discord・Google Meet 等を用いたオンラインプログラムとして実施した。中高生が自己探求と探究学習を通じ、関心を具体的な行動につなげることを目的とした。

参加者は本科生15名、エッセンシャルプラン生6名の計21名。海外大学進学や国内大学の総合型選抜を直接のゴールとせず、各自の興味・問題意識を掘り下げ、プロジェクトとして進める構成とした。

主な内容は以下の4点。

1. 自己理解・自己受容を深める内製ワークショップ
2. 探究プロジェクトを進めるゼミ
3. 海外大生メイトとの1on1・コミュニティ交流
4. 外部ゲストによる講演・ワークショップ

開講初期に自分史の作成、自己分析、実行可能な計画づくり等を実施した後、少人数ゼミでテーマと活動計画を具体化し、実践と振り返りを繰り返した。

外部ゲストの主な招請は以下のとおり。

- 2025年6月：芦屋市長・高島峻輔氏（失敗や挫折を含む経験から学び続けること）
- 2025年7月：白川寧々氏「海外大進学のウソ・ホント」（保護者会を兼ねて実施）
- 2025年8月：松本杏奈氏（複数の関心を両立しながら進路を切り拓くこと）
- フミコーン氏による特別レクチャー
- 2026年1月：JAXA宇宙飛行士・米田あゆ氏による特別講演

受講生の探究テーマは、教育、地域課題、アート、科学、キャリア、社会的マイノリティ、国際的な進路選択等、多岐にわたった。成果物の形式を揃えるより、関心の言語化、問いの設定、小規模な試行、振り返りを重視した。

受講生の取り組み例は以下のとおり。

- 学びの目的を自分で選べる環境づくり：ヒアリング・対話を経て、コミュニティ内ワークショップ開催を目標に設定
- 学生の研究・探究を阻む資金・制作環境の不足：構想を企業・協力者・規模の観点から分解して推進
- 食品ロス：文献調査に加え現場への問い合わせ・訪問を実施し、発信方法を見直し

協力が集まらない、返信が来ない、問いが広すぎる等の課題についても、ゼミ・1on1で次の行動を具体化した。

2026年3月に卒業式・成果発表会を開催した。受講生は取り組んだプロジェクト、気づき、今後の挑戦を発表し、質疑およびメイト・ディレクターからのコメントを受けた。

（4）52Hz English Academy

2025年6月～2026年5月に、52Hz English Academy を3期開講した。各期は約3ヶ月・全12回のオンラインプログラムで、海外大学生による英語レクチャー、事前リーディング課題、少人数ディスカッション、ライティング課題へのフィードバック等を実施した。

各期の参加者数は、2025年7～9月期19名、2025年10～12月期12名、2026年1～3月期13名（新規3期の延べ44名）。2025年4～6月に実施した前期プログラムの6月分を含めると、同期間内の授業は約40回、延べ受講者数は約64名。

テーマは世界情勢、AI、数学、社会課題、人権、文化等。毎回、事前課題で背景知識・語彙を学んだ後にレクチャーを受け、4～5人程度のグループでディスカッションを行った。希望者・対象者にはライティング課題へのフィードバックも実施した。

(5) 対外発信

出張授業・対面イベント

学校現場へのお出張授業および外部団体との対面イベントを実施した。主な実施先は以下のとおり。

時期	相手・会場
2025年4月	南陽高等学校
2025年9月	高松第一高等学校
2025年12月	愛光中学・高等学校
2025年12月	大手前高松中学・高等学校
2025年12月	南山高等学校（女子部）
2025年12月	京都府立洛北高等学校（附属中学校を含む）
2025年12月	文化学園大学附属杉並中学・高等学校
2026年3月	ドルトン東京学園
通年	ベネッセ、Qulii、TEDx等とのコラボイベント

公式note

公式note (https://note.com/52hz_world) に、活動報告およびメンバーによる進路の記録を公開した。主なマガジンは以下のとおり（本数は累計）。

マガジン	本数	内容
52Hzのクジラたちの人生日記	95	中高生・ギャップイヤー生による進学奮闘の日記
52Hz Accelerator	51	プログラムの募集・運営・振り返り
52Hzについて	10	団体・運営に関する記事
52Hzくじられぽーと	5	コミュニティマネージャーによる月次まとめ
52Hz海外大学生の人生日記	3	進学後の海外大生による日記

本年度は、出張授業・外部講師の特別講演の報告に加え、メンバー日記の連載を継続した。

NewsPicks

NewsPicks にトピックス「正解なきグローバル時代を生きる、あなたの知らない10代の脳内」(<https://newspicks.com/topics/teens-mind/>) を開設し、運営した。トピックスオーナーは理事・谷津凜勇。2025年6月頃に開始。52Hzの中高生・海外大生メンバーが、学び・挑戦・進路選択の過程を発信した。記事6本、フォロワー約74人（2026年7月時点）。

海外大進学を取り巻く状況の紹介のほか、自分軸での進路選択、比較の捉え直し、公立高校からの海外進学、国内受験への切り替え、編入経験等、メンバー自身の体験談を中心に掲載した。

(6) 主な出来事

年月	内容
2025年4月	日本財団助成 Office Hour 開始（助成期間）
2025年6月	本事業年度開始（事業年度を6月開始へ変更）／Accelerator開講／NewsPicksトピックス開始

2025年7月	English Academy（7～9月期）開講
2025年10月	English Academy（10～12月期）開講
2026年1月	English Academy（1～3月期）開講
2026年3月	Office Hour 助成期間終了／Accelerator卒業式・成果発表会
2026年5月	本事業年度終了

(7) コミュニティ規模

指標	期初（2025年6月頃）	期末（2026年5月31日）
応募者数	1,170名	1,523名
コミュニティ参加者数	—	931名

3. 組織運営

本年度の社員総会・理事会の開催状況は以下のとおり。

社員総会

回	日時	場所	出席	主な議案
定時	2025年6月28日 9:00～10:00	オンライン（Google Meet）	理事5名	活動報告、収支報告、決算書類の報告・承認

※上記は前期間（2025年3～5月）の事業報告・計算書類に関する定時社員総会。事業年度変更（臨時・2025年5月3日）は過渡期報告書に記載済み。

理事会

未設置（理事会非設置型のため開催なし）

4. 計算書類

(1) 貸借対照表

2026年5月31日現在
（単位：円）

科目	当年度
I 資産の部	
流動資産（現金預金）	5,825,732
固定資産（創立費）	226,135
資産合計	6,051,867
II 負債の部	
前受助成金	2,833,000
役員借入金	159,292

未払金	21,748
未払法人税等	70,000
前受金	2,025,000
預り金	66,175
負債合計	5,175,215
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産合計	2,731,218
負債及び正味財産合計	6,051,867

(2) 正味財産増減計算書

2025年6月1日から2026年5月31日まで
(単位：円)

科目	当年度
Ⅰ 正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
事業収益	3,950,873
雑収益	24,380
経常収益計	3,975,253
研修費	6,096
役員報酬	3,176,546
福利厚生費	19,414
外注費	3,828,763
広告宣伝費	134,796
交際費	47,512
会議費	539,413
旅費交通費	889,273
通信費	773,763
販売促進費	32,891
消耗品費	8,223
新聞図書費	81,408
支払手数料	41,334
車両費	3,879
租税公課	0

地代家賃	165,000
支払報酬料	181,500
雑費	6,878
経常費用計	9,936,689
当期経常増減額	Δ5,961,436
2. 経常外増減の部	
助成金	3,253,000
寄付金	37,124
経常外収益計	3,290,124
当期経常外増減額	3,290,124
税引前当期正味財産増減額	Δ2,671,312
法人税・住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	Δ2,741,312
正味財産期首残高	5,472,530
正味財産期末残高	2,731,218